

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成28年1月4日（月）～平成28年1月10日（日）〔第1週〕の感染症発生状況

第1週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)インフルエンザでした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は11.00人と前週（7.77人）からやや増加しましたが、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.30人と前週（2.23人）からほぼ横ばいですが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は2.28人と前週（0.46人）から増加しましたが、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。



流行性角結膜炎（はやり目）にご用心！！

流行性角結膜炎（はやり目）の患者報告数は、全国的に8月以降増加していましたが、川崎市ではほぼ例年並みでした。ところが、昨年未から、市内でも患者報告数の増加がみられるようになりました。目の充血などがみられた際には、こすらないように注意して、早めに眼科を受診しましょう。

流行性角結膜炎の特徴は？

病原体：アデノウイルス8,19,37型など

感染経路：接触感染で感染力は強い。

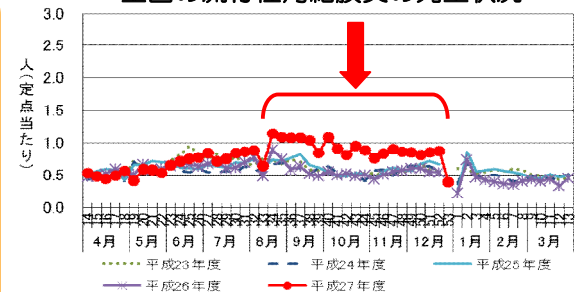
潜伏期間：8～14日間

好発年齢：1～5歳を中心とする小児に多いが、成人も含め幅広い年齢層にみられる。

症状：主に涙が出る、目やにが出る、目が充血するなどの症状が出る。乳幼児では偽膜ができて重症化することもあり、場合によっては失明することもある。

予防方法：目やには直接手で触れず、ティッシュなどで拭き取る。手洗いを徹底し、タオルの共用は避ける。

全国の流行性角結膜炎の発生状況



川崎市の流行性角結膜炎の発生状況

